

～新春県政報告会～ (平成26年1月15日)

新春県政報告会を今年は誕生日と同じ日に行いました。昨年の参院選の御礼や日頃のご支援への感謝とともに、新幹線金沢開業を一年後に控え、百年に一度のチャンスとも言われる中で、これからの石川県や金沢市のあり方について思いを述べました。昨年以上に多くの方にお越しいただき盛大に執り行うことが出来ました。



～党大会・青年局会議～ (平成26年1月19日)

第81回自民党大会が、「日本を取り戻す」飛躍の1年”とのスローガンの元、東京・グランドプリンスホテル新高輪で開かれ、青年部代表として出席しました。

政権再登板後、昨夏の参院選での勝利もあり、閣法成立率は87%と大きな成果を上げたことも報告されました。また、青年局会議では政策プレゼンコンテストなど新しい取り組みを導入することなどが決定されました。



～2月定例会～ (平成26年2月3日～21日)

平成26年度第一回議会(2月定例会)が開催され、2月12日の一般質問において質問をしました。(以下、質問要旨と答弁要旨)

① 災害避難所環境の改善について

大震災の避難所では肉体や精神の疲労による震災関連死が問題となっている。それを改善するために段ボールによる簡易ベッドが考案され、効果を上げており、段ボール工業組合と自治体との防災協定締結も増えてきている。本県においても防災協定締結を考えてはどうか。



-----<答弁>谷本正憲 知事

平成24年9月の国の防災基本計画見直しを受けて、簡易ベッドの導入など災害要援護者に配慮するよう県の地域防災計画を改定した。段ボールベッドの今後の活用については先行県の事例なども踏まえながら関係団体と相談し、避難所環境の改善にしっかり取り組んでいく。

② ひきこもり対策について

本県のひきこもり支援の実施状況はどうなっているのか。これまでひきこもり支援は10代や20代などが想定されてきたが、近年はひきこもり者の高齢化が進んでいる。本県も、行政対応に年齢制限を設けており、これを超えると年齢を理由に支援を拒否され、行き詰まることがあると聞く。対応年齢拡大など、支援体制の充実が必要ではないか。

---<答弁>北川龍郎 健康福祉部長 -----

石川県こころの健康センターが個別相談、社会復帰支援教室、家族教室、市町等を対象とした研修会に取り組んでいる。ひきこもり者の多様な相談に対処するため、サポーター養成・派遣事業が今年度から国により開始され、その実施に向けた環境整備、養成研修の準備に今後取り組んでいく。また、年齢制限の見直しも検討する。

③ 交通政策基本法と都市内交通について

都市内交通として金沢でのLRTをいま一度考えたい。これまで採算性や走行空間の狭さを理由に導入困難と位置付けてきたが、軌道敷設の上下分離が法的に可能になり、国の助成制度も大きくなり、まちバスの成功等を見ると、採算問題はクリアされたと考えられる。また、走行空間も国道157号の拡幅がほぼ終わり、導入困難の原因は解消されたと考えられるがどうか。

---<答弁>鈴木研司 土木部長 -----

近年、補助制度が拡充し、軌道整備や車両購入への補助など交通事業者の負担は軽減された。しかし、国道157号は1日当たり3万台を超える交通量があり、LRT導入で4車線から2車線に絞ると大渋滞の発生が予想され、走行空間の確保は依然課題と考える。既存のバスの利用促進に努めたい。

この他、金沢城公園のカラス対策についてと投票証明書について質問しました。

～金澤学生団体總會・社会人交流会～ (平成26年2月22日、27日)

金沢学生のまち市民交流館で22の学生団体が一堂に会し、總會と銘打たれた交流会に参加してきました。まちづくりや就活支援、フリーペーパー出版など様々な団体があると知ることが出来ました。

また5日後には学生団体「グラッパ」の主催する社会人交流会にゲストとして招かれ、意見交換をしてきました。学生は金沢の財産だと強く感じました。



～石川県知事選挙～ (平成26年2月27日～3月16日)

自民党推薦の谷本正憲氏が6回目の当選を果たしました。

～石川県ハンドボール協会総会～ (平成26年3月15日)

昨年から金沢市ハンドボール協会会長ならびに県協会副会長となり、初めて総会に出席しました。最近は国体などで思うような成績を残せない現状があります。かつての勢いを取り戻せる様、微力ですが尽力していきます。

～臨時議会～ (平成26年3月27日)

知事選後の組織議会として臨時議会が開かれ、議長の交代と委員会の変更が行われました。常任委員会は商工労働公安委員会となり、また特別委員会では新幹線対策特別委員会の副委員長となりました。

～TEAM11(東北、福島第一原発視察)～ (平成26年4月11日)

毎月11日に自民党青年局が行う東北視察で福島第一原発を視察してきました。

通常入れない原発建屋内で防護服を着ての視察でした。敷地内では約5千人が働き、廃炉作業は少しずつです



が前に進んでると感じられました。ここで働く方々は、廃炉作業の中で得られる知見が必ず世の中の役に立つとの思いでモチベーションを維持されているそうです。

また、3年ぶりに新入社員を採用し、福島からも45名が「廃炉に携わって故郷を取り戻したい」と情熱を持って入社したと聞きました。報道ではいつも悪者の東電ですが、働く一人ひとりの思いにいろいろと考えさせられる視察となりました。

～市議会同期会・県外視察(熊本、広島)～ (平成26年4月21～23日)

熊本市でICT推進計画と都市ブランド戦略について、広島市でLRTについて話を聞いてきました。

広島では広島市議4名、廿日市市議1名と交流会を行いました。外から見た金沢についてご意見をいただいたり、自由闊達な広島市議会の現状に刺激をもらったりと有意義な時間となりました。



～龍馬プロジェクト総会(鎌倉・東京・流山)～ (平成26年4月27日、28日)

鎌倉の円覚寺にて開催の龍馬プロジェクト総会に出席しました。坐禅や国際ネゴシエーター島田久仁彦先生の講演もあり、夜はメンバーでもある松尾崇鎌倉市長を交えた懇親会も行いました。

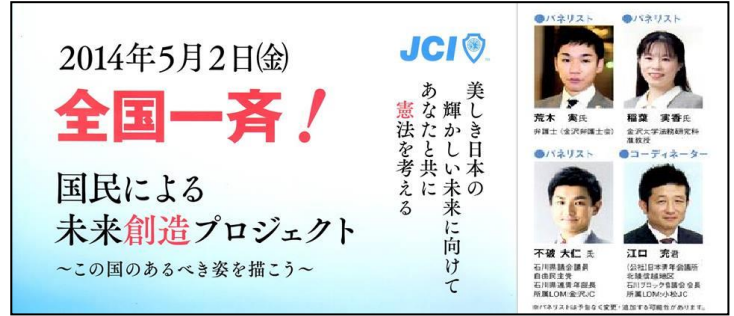
翌日は流山市議会を視察しました。議会改革の最先進地であり、電子採決の導入や議会報告会開催など石川県内でも取り入れたくなる内容が多くありました。



～青年会議所憲法事業～ (平成26年5月2日)

日本青年会議所石川ブロック協議会が主催する憲法タウンミーティングにパネリストとして参加しました。

憲法とは何か、日本の憲法はどうあるべきかについて意見を述べさせていただきました。他のパネリストのご意見も興味深く、とてもいい経験になりました。尚、最後に挙手によるリアルタイムアンケートがあり、憲法改正発議をすべきという意見が8割となりました。思ったより大きな数字でした。



2014年5月2日(金)
全国一斉!
国民による
未来**創造**プロジェクト
～この国のあるべき姿を描こう～

JCI
美しく日本の輝かしい未来に向けて
あなたと共に憲法を考える

●パネリスト ●パネリスト
荒木 真氏 稲葉 実香氏
弁護士(法務科) 金沢大学法政学研究所
准教授
●パネリスト ●コーディネーター
平塚 大仁氏 江口 秀君
石川青年会議所 副会長 石川青年会議所
副会長 石川青年会議所
副会長 LDM 金沢中心 所属 LDM 金沢中心

～いちいち会視察(長野)～ (平成26年5月12～14日)

北陸新幹線で一気に時間距離が縮まる長野県を視察しました。軽井沢や長野市、飯山市を訪問しました。

飯山市は平成9年の長野新幹線開業以来、17年間待ちに待った開業で、石川県で言えば小松や加賀の様な位置付けです。新幹線効果を長野市からどう引っ張ったかなど、お聞きしました。

長野と金沢間は約1時間で結ばれます。来年は善光寺のご開帳も重なり、交流人口の増加が見込まれます。



～市長を囲む座談会～ (平成26年5月27日)

城南中、新豎町小、菊川町小、南小立野小の各PTA役員と山野市長との座談会に一役員として参加しました。子育て世代の率直な意見を直接市長に述べる場はとても新鮮に感じられ、懇親会でも市長との意見交換は大いに盛り上がっていました。

フワ大仁 ヒロヒト 政務調査事務所
〒920-0968
金沢市幸町2丁目2-201
TEL・FAX 076(231)0177

県政に刷新の風を。 **フワ大仁** ヒロヒト
熱意と決意の真剣勝負!
公式サイト: <http://www.fuwa-hirohito.com/>
ブログ: <http://ameblo.jp/fuwahirohito/>

平成26年6月作成

フワ大仁政務調査事務所では、主に大学生を中心としたインターンシップを受け入れています。政策立案や議会傍聴などの他、ビラ配りや街頭演説など教科書では学べない政治家の仕事を体験してもらい、若者の政治意識の喚起に繋がってまいります。

お願い

誠に失礼ながら、住所や宛名などに間違いがありました場合には、ご連絡頂ければすぐに訂正させていただきます。また、住所の変更等についてもご連絡頂ければ幸いです。